



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラブビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
https://tsukuba-net.jp



2024年11月28日 vol.82

## 市民がつくる市民の政治 投票はゴールではなく新たなスタート!!

去る10月27日、衆議院・つくば市長選挙と同時に行われた「つくば市議会議員選挙」。28議席に対し、前回を上回る46名もの立候補者がありました。つくば市民ネットワークは、「投票は、4年に一度の市政への直接参加のチャンス!」と投票を呼びかけました。

ただ、今回は国政も重なり、候補者のチラシやSNSによる情報が飛び交い「どの選挙に誰が出馬している」のかさえ把握するのが大変でした。投票用紙も5枚あり、どれに何を記入するのかわかりにくい選挙でしたが、あなたは、無事に投票できましたか？



当選した4人の候補者。左から、川田青星、あさのえくこ、川村直子、小森谷さやか

1万3390票の  
重みを受けとめ

市民ネットは、今回新人を含む4人の候補者全員が当選! 合計で前回から4000票増え、1万3390人の方から支持を得ました!

今回の結果を、これまでの市民ネットへの評価であると共に、今後への期待と受け止め、これからも活動に取り組みたいと思います。



28議席中、新人11人!

今回の選挙では、つくば市議会の構成に大きな変化がありました。28議席中4割に当たる11議席が新人です。さらに、20〜30才代が3人↓8人へ、平均年齢も52・5才↓48・9才とぐつと若返りました。

新しい感覚による議論が展開され、よりいっそう議会の活性化が図られるのではと期待が膨らみます。

投票したら終わりではありません!  
ありません!

選挙は投票したら終わりではなく、ここからがスタートです。公約を掲げ当選した議員にとっては、市民の負託

### 2024市議会議員 選挙アンケート

今後の活動に生かすため、投票に行った方も、行けなかった方もアンケートにご協力ください!



にこたえる4年間が始まります。有権者の皆さんは、投票した議員がどのような活動をしていくのか、ぜひチェックしてほしいと思います。

市民ネットは、「議員に任せずる」のではなく、市民と議員が共に調査や協議を重ね、まちづくりを進めています。

具体的には、市民は暮らしの中の困り事や問題、地域の課題などを話し合います。議員は市民の代弁者として、これらの課題や解決策を議会を通して提案し、その結果を市民へ報告します。このように、現場の声を市政に反映したり、情報を共有しながら市政の改善に努めています。

市民ネットはより多くの市民と連携して「#つくばを未来へ」「#暮らしは政治」をスローガンに活動を進めていきます。

さあ、新たな4年間の始まりです。皆様の参加をお待ちしています!

つくば・市民ネットワーク  
4議席獲得

3期目	小森谷さやか	3,399票
2期目	あさのえくこ	2,802票
2期目	川村直子	3,029票
新人	川田青星	4,160票

選挙以外での議員の活動を知るチャンス!! 議会をライブや録画で見よう~!

12月 5日	本会議 (議長選挙、常任委員会決定)
6日	本会議 (議案上程)
13,16日	本会議 (一般質問)
17日	本会議 (一般質問・総括質疑)
18日	総務文教委員会 福祉保健委員会
19日	市民経済委員会 都市建設委員会
24日	予算決算委員会
26日	本会議 (討論・採決)

※「本会議」はインターネット生中継もあります。  
※「委員会」は後日録画配信されます。  
※左の日程は予定です。

一般質問は、議員一人あたり持ち時間30分で、市政全般について質問します。

4つの委員会は通告なしで、議員が自由に発言できます。

傍聴について  
つくば市役所6階入口で受付け。左記の会議はすべて誰でも傍聴できます。

## 公立幼稚園の3歳児保育拡充を!

2019年からの幼児教育・保育の無償化に伴い、長時間保育や習い事の充実を掲げる私立幼稚園等に預ける保護者が増え、つくば市のほとんどの公立幼稚園では園児が激減しました。

一方で、市民ネットには多くの保護者から「3歳児保育があれば公立幼稚園に行かせたい」という要望をいただいています。地域の身近な施設であること、学校と連携しやすいこと、インクルーシブ教育に欠かせない施設であること、など公立幼稚園には大きな存在意義があります。

今回、つくば市が2018年に当時の公立幼稚園在園の保護者に調査を行い、保護者の9割近くが「3歳児保育があったら利用した」との回答を得ていたことがわかりました。

また、2023年度に実施した子ども子育てプラン策定のためのアンケートでは私立幼稚園に通う保護者の半数近くが「3歳児保育だったら公立を選んだ」と回答しています。

これらの調査結果にもかかわらず、現在、3歳児保育は手代木南幼稚園と荃崎幼稚園の2園のみ。その後の拡充状況について確認したところ「(3歳児保育は)今年度卒園する手代木南幼稚園の保護者にアンケートを取り、検証を行い、その後検討する。」との消極的な答弁でした。

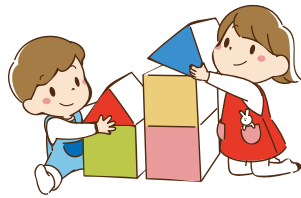
公立幼稚園を幼稚園・保育所の機能を併せ持つ「認定子ども園」に移行している自治体もあります。公立幼稚園の存在意義を活かせるあり方を今後も議論、提案していきます。



つくば市議会議員  
福祉保健委員会委員  
**あさの えこ**

### 一般質問項目

- ・つくば市ソーラーシェアリングに関するガイドラインについて
- ・公立幼稚園のあり方の議論



## 11月本会議 市民ネット発の決議案、全会一致で可決!

今年6月に自公政権は、緊急の際に、国が各地方自治体に指示ができるようにする地方自治法改正を、野党の反対を押し切って実施しました。そもそも、2000年の地方分権一括法で、“国と地方の関係は対等”となっていたにもかかわらず、今回の自治法改正では、緊急であれば、国会での審議を経ずに、大臣が地方へ指示を出すことができるようになってしまったのです。政府や大臣の判断が、住民にとって常に適切とは限りません。

例えば、2020年春のコロナ感染が広まった時に、安倍首相が突然、学校一斉休校を宣言し、多くの地方自治体はすぐに一斉休校を行いました。従った自治体では、突然の休校で、働いている保護者が仕事を休んだり、仕事を辞めざるを得ないケースも出て混乱しました。しかし、つくば市は独自の判断で、希望する家庭は登校できるようにしました。このように、現場を知る地方自治体が地域の実情や特性に合わせて、自立的・自主的な「地方自治」を実践していくことが重要です。

沖縄県では辺野古基地建設をめぐる、政府が県の許可権限を無視した代執行で工事を強行するなど、地方の自治権が侵害されています。そのような中での今回の地方自治法改正。政府の一方的な介入を許さないよう、しっかりと「地方自治」を実践していく必要があります。そのために、議会への市民の参加を推進し、議会で議論を尽くしていく仕組みづくりなど、今後も議会活性化を推進していく決議を提案し、全会一致で可決しました。



つくば市議会議員  
都市建設委員会委員長  
**皆川 ゆきえ**

### 一般質問項目

- ・公共施設へのエレベーター設置について
- ・水道事業の福祉政策について
- ・会計年度任用職の正規採用について



決議文はこちら→

## サステナスクエア予算

## なぜ倍増? もっと判断できる資料を!

つくば市のサステナスクエア(つくば市のゴミ焼却場、リサイクルセンター、し尿処理場の総称)の管理は民間委託になっています。この契約を更新するための予算が提案されました(下表)。

追加	款	項	事項	期間	限度額
	4. 衛生費	2. 清掃費	令和6年度サステナスクエア包括的運営管理業務委託	自 令和6年度 至 令和11年度	9,121,002

5年間で91億円。前回は5年間で49億円でした。倍増近いにも関わらず説明資料が全くありませんでした。

- そこで、市民ネットは会派として説明を求め、その資料から
- ① 前回の契約時より実際に働いている人が25%も増え、実際にその人数が必要
  - ② 人件費の構成が変更になった
  - ③ 施設の維持、修理費が多額になる
- といった増額の根拠が明らかになりました。

しかし、説明資料が求めた議員にしか提供されないことは問題だと考え、議員全員への資料の提供を求め、実現しました!

**議員の仕事の第一は議案を精査し、議論して可否を決めること**、です。そのためには、まず必要な情報を議員全員が共有し、議論できる環境を整えなくてはなりません。今回のように、議会への情報提供はまだ不十分です。今後も議会改革に取り組んでいきます。

## 2024年9月議会議決結果

※「脳脊髄液減少(漏出)症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願書」、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」は採択、「上横場保育所の建て替えを谷田部庁舎跡地に、高見原保育所と城山保育所の統合保育所は高崎幼稚園跡地に建て替えを求める請願書」、「つくば市長の給料の特例に関する条例(案)についての請願書」は不採択になりました。

議決の結果 (○:賛成、×:反対、欠:欠席)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば自民党・創生クラブ	自民党政清クラブ	公明党つくば	日本共産党つくば市議団	つくばチェンジチャレンジ	新緑会	清郷会	山中八策の会	新社会党つくば
水道料金の値上げに関する条例	可決	×	○ 欠:久保谷	○ ×:宮本、塚本	○	×	○	○	○	○	×
市長の退職金の額をインターネット投票で決める条例	可決	×	○ 欠:久保谷	×	○	×	○	×	○	○	○
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数26 議長:五頭)		*皆川、あさの川村、小森谷	*黒田、小村、高野、長塚神谷、小久保、(五頭)久保谷	*飯岡、宮本、木村修、塚本鈴木	*小野浜中	*橋本山中	*川久保	*中村	*木村清	*塩田	*金子



## 地域交流センター もっと人が繋がる場所に!



つくば市議会議員  
市民経済委員会副委員長

### 川村 直子

#### 一般質問項目

- ・地域交流センター及び類似の公共施設における市民の活動の支援について
- ・不登校支援策について

#### 市民ネットの提案が実現

市民ネットでは、地域交流センターが市民活動やコミュニティづくり活動の拠点として機能するように、要望を続けてきました。結果、**無料Wi-Fi設置**を実現、要望の多い「**公共施設インターネット予約システム**」の改善計画も進行中です。2023年4月からは「**地区相談センター**」機能が移動し、全ての地域交流センターで市民からの「**相談受付事業**」を開始。道路の草刈りや補修だけでなく、福祉に関して等何でも相談出来るようになりました。また「**居場所事業**」=**フリースペース設置**も始まっています。これらはまだまだ知られておらず、積極的な周知と利用が急務です。

#### 基本計画、運営方針が必要

市民の自主的な活動や交流の場として、地域コミュニティの活動を通じた行政と市民の協働によるまちづくりを目的に、公民館が地域交流センターへと移行してから13年が経ちました。しかし、当時策定された「**地域交流センター基本計画**」は、2015年度に計画の見直しを行うと明記されたにもかかわらず、更新されることなく、現在に至ります。市民の多様なニーズをまちづくりに生かすための協議会設立も実現されていません。

現在、コロナ禍を経て、市民の様々な活動が再活性化しています。今こそ、行政と市民の協働を反映させ、地域交流センターの運営方針や基本計画を見直し、その役割や在り方をしっかり明確化する時期と指摘し、取り組みを提案しました。今後も引き続き、提案、要望を続けていきます。

※この件は議会でも決算審査の重要テーマのひとつとなり、議会から市へ「令和7年度への提言」として提出しました。  
詳しい提言内容はこちら→



## 水道料金

### その値上げ、ちょっと待った!!

9月議会に水道料金について、標準的な世帯で約22~23%の値上げとなる改定案が提出されました。

今回の値上げの理由は、水道施設の老朽化対策、未普及地域への敷設工事費、物価高騰による資材費を確保するため、ある程度の値上げは致し方ないと考えます。

しかし、それまで市民ネットが提案して来た、水道会計の資金残高30億円の見直し、企業債残高対給水収益比率の見直し等を行えば、今そこまでの引き上げは必要ないと考え、議案に反対しました。

他の議員の賛成多数により改定案は決まってしまいましたが、今後、2030年に、さらに平均15%程度の値上げが見込まれており、増額幅縮小のための見直し案を引き続き提案していきます。



## 教育のデジタル化で子どもの体力・視力が低下?



つくば市議会副議長  
総務文教委員会委員

### 小森谷 さやか

#### 一般質問項目

- ・予防接種により健康被害を訴えている市民への対応について
- ・今後回復すべき子ども健康について

毎年行われている体力・運動能力調査によると、つくば市の小中学生の体力はコロナ禍で低下し、回復していません(最新はR5)。つくば市はいずれの学年のいずれの種目でも県平均を下回っており、特にシャトルラン(全身持久力)と反復横跳び(敏捷性)の項目で低い点数となっています。各学校に任せるのではなく、市全体として体力アップに取り組むべきではないか、と問題提起しました。

また、視力の低下も深刻です。全国的に見ると、子どもたちの裸眼視力1.0以上(A判定)の割合は年々低下しています。つくば市の状況を確認すると、特に小学校低学年の視力低下が近年著しいということが分かりました(表)。

**約2倍!**

	2014年	2023年
視力1.0未満の低学年児童の割合	17.3%	29.9%
視力0.3未満の低学年児童の割合	1.3%	2.7%

強度近視は将来、網膜剥離や緑内障など、失明につながるリスクが上がります。私はこの背景に、小1から1人1台のデジタル端末等、教育のデジタル化が進められてきた影響があるのではないかと心配しています。

東アジアでは近視人口が爆発的に増加しており、台湾では体育の授業を週150分屋外で行うことを義務付けたそうです。類似の取り組みを始める国も出ている中、日本では、文科省が3年間の実態調査を行い、以下のような呼びかけをしています。

- ・屋外で過ごす時間を増やしましょう
- ・できる限り、近い所を見る作業は短くしましょう

これらが近視予防の一丁目一番地ということなので、学校や家庭での過ごし方に注意するようにもっと呼びかけて欲しい、と要望しました。また、デジタル端末が小さな子どもの脳に与える悪影響についても触れました。

この質問の後、スウェーデンが学力低下を理由に紙に回帰した、という報道を見ました。今「教育DX」は世界で問い直されています。今後もこの課題を取り上げていきます。

## 市長の退職金をインターネット投票で決める 条例に反対しました

全国ニュースにもなった上記議案について、市民ネットは以下の理由で反対しました。



- ①マイナンバーカードを持たない人のための投票機会を確保すべき
- ②ただの人気投票とならないよう、市長の政策とその評価について市民と直接対話する機会を設けるべき

そもそも市民ネットはインターネット投票に反対です。投票開始時に投票箱が空であることを確認したり、疑義が生じた際に数え直しをする等、紙であれば簡単にできることが電子投票ではできません。複雑なアルゴリズムを理解できる人はごく少数で、不正が疑われた時に市民が納得できる説明を得ることはできないと考えています。

つくば市は電子投票の実現をスーパーシティの目玉事業としていますが、公平性を担保するためには、マイナカードを持たない人のための投票システム構築のことも考えるべきです。

委員会でも本会議でも賛否は同数、委員長・議長採決というギリギリの線で可決となったのが今回の条例です。引き続き皆さんと考えていきたいです。





2024年11月28日 Vol.82



## うののぶこ県政レポート

### 決算特別委員会ですべての施策をチェック!

茨城県議会・決算特別委員会が第2回定例会の最終日6月20日に設置されました(うののぶこ含む委員15人)。9月24日に歳入歳出決算書や付属書類、公営企業会計決算書、主要施策の成果に関する報告書、監査委員の審査意見書が配付され、9月~11月に6日間にわたり審査を実施しました。

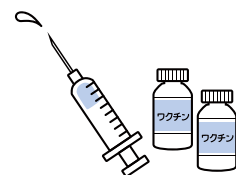
県政全体の施策について、1部局ずつ説明を受けて質疑応答。事前通告なしで質問でき、一人の委員が質問したことについて、他の委員からも重ねて突っ込みが入るなど、活発な議論になりました。



茨城県議会議員  
うののぶこ

#### 【うののぶこが質問した主な項目】

- ・新型コロナウイルス感染症の発生件数とワクチン副反応健康被害の状況
- ・難病相談支援センターの相談内訳、難病連からの要望と対応状況
- ・低所得者の医療受診を支える無料低額診療の実施状況
- ・ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施状況、課題と対策
- ・茨城県視覚障害者協会からの同行援護サービス充実を求める要望への対応
- ・水道広域化の調査を再度委託した理由、広域化で必要になる工事費
- ・地産地消型の再生可能エネルギー導入可能性調査の結果の活用
- ・環境放射線監視のモニタリングポストが不足している問題への対応
- ・原子力立地給付金、発電施設等周辺地域交付金、原子力地域進行事業費補助金について、各自治体の金額と算出基準
- ・有機農業の推進状況、面積、オーガニックビレッジ宣言の推進状況
- ・海外企業誘致や本社機能移転後の通勤環境、生活環境のフォローアップ
- ・教員採用試験の日程前倒し効果、常勤講師不足率、非常勤講師の共済加入
- ・横断歩道歩行者妨害の都道府県別調査の結果(茨城県44位)と対策



詳細は近日発行予定の「うののぶこ県議会レポートVol.6」にて報告します!

命と生活を  
まもるための **無料**

## 生活相談会

2024年12月15日(日)  
12:00~14:00  
つくば・市民ネットワーク事務所  
(つくば市二の宮2-1-3)  
主催:生活困窮ささえあい茨城

さまざまな公的支援があります。  
気がねなくご相談ください。

当日は軽食を準備しています。  
また、お米・食料品はじめ日用品など  
寄付による物資もあります。  
お気軽にお立ちよりください。



新代理人あいさつ

## #つくばを未来へ

この度皆川ゆきえよりバトンを受け継ぎ、新たな代理人となった川田青星です。先の市議選ではたくさんの方に応援していただき、周りの人に恵まれていると実感した1週間でした。

もっと多くの人に政治を自分ごととして捉えてもらいたいという思いから、私は代理人として挑戦することを決めました。市民ネットでは以前より「暮らしは政治」をモットーに、政治をおまかせにしない活動を続けています。市民の間で少しずつその意識は広まりつつあると感じていますが、課題となっているのが若い世代にどう関心を持ってもらうかということです。政治への不信感、身近なものであるとの実感のなさが関心の低さに繋がっていると思います。

20代の私が挑戦することで、政治は誰でも関わることができるということを示したいと選挙期間中ずっと訴えてきました。結果として、子連れのお父さんやお母さん、20代の友人などから、「政治が身近なものになった」、「投票へ行こうと思うようになった」という声を聞くことができました。選挙を通して政治に興味を持ってくれた方に、日頃から政治に関心を持ってもらうためにも、これから先の4年間が重要です。



川田青星とともにつくばの未来をつくっていきましょう!

## 高齢福祉部会活動レポート

### 認知症予防は「筋肉」が決め手!



8月28日、市民ネットの高齢福祉部会主催で『認知症講演会 ~共に笑い、共に生きる 人生100年時代の認知症予防の秘訣~』を開催。予約の倍ぐらゐの当日参加があり、参加者約90名の大盛況でした!

耳の不自由な方にも参加していただけるよう、ヒヤリンググループ(一定の範囲内でマイクを通した音声を直接補聴器や人工内耳へ伝えることができる装置)や手話通訳を準備しました。

講師の金田先生は、関西で重度認知症のケアを専門にしてこられた臨床心理士で、脳への刺激や血流が認知症予防には重要と、病理学的な難しいお話も、軽快な関西弁トークで、楽しみながら学びました。

「みなさん、運動してますか? どのくらい歩いています? 歩く速度は?」と次々質問が飛び、「息が切れるくらいの速さで“40分”歩かな、運動にはなってませんよ~!」と有酸素運動の重要性を認識させられたり、動くことで脳の働きを維持してきた人類の歴史を紐解き、認知症になるリスクが高まる行動や食生活で気を付けたいことなど、具体的に話していただきました!

また、長生きすれば避けられない認知症。リスクを抑えるためには運動し、バランスよく食べる。そして、認知症かなと思ったら、早めに「専門の検査」を受け対応する。認知症になってしまったら「しゃあないか、面倒見てな」と腹をくくる、そのためにも、日ごろから家族と良好な関係を築いておくのが大事、と話されました。

講演会後の小人数グループに分かれてのグループトークも熱気にあふれた意見交換となりました。今後も、部会発のイベントを開催したいと考えています。次回乞うご期待!

## まちづくりカフェ 1月23日(木) 10:00~12:00

荳崎交流センター 視聴覚室

市民ネットの代理人(議員)を交えて様々な情報と意見交換を行います。どなたでもお気軽にご参加ください。